



平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 10 月 30 日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5334 URL <http://www.ngkntk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 尾堂 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 成田 宜隆 (TEL) 052(872)5918
 四半期報告書提出予定日 平成 25 年 11 月 14 日 配当支払開始予定日 平成 25 年 11 月 29 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	162,155	22.2	23,324	136.3	24,664	164.2	15,691	106.7
25 年 3 月期第 2 四半期	132,749	△4.5	9,868	△36.1	9,336	△31.0	7,592	△27.5

(注) 包括利益 26 年 3 月期第 2 四半期 22,653 百万円(915.9%) 25 年 3 月期第 2 四半期 2,229 百万円(△77.0%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 3 月期第 2 四半期	72.09	—
25 年 3 月期第 2 四半期	34.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	430,121	288,376	66.6
25 年 3 月期	366,489	268,309	72.7

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 2 四半期 286,424 百万円 25 年 3 月期 266,295 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 3 月期	—	11.00	—	11.00	22.00
26 年 3 月期	—	13.00	—	—	—
26 年 3 月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成 26 年 3 月期の連結業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	324,000	7.0	47,000	97.9	48,500	75.2	30,000	43.5	137.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	223,544,820株	25年3月期	223,544,820株
26年3月期2Q	5,894,075株	25年3月期	5,877,441株
26年3月期2Q	217,656,948株	25年3月期2Q	217,676,798株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

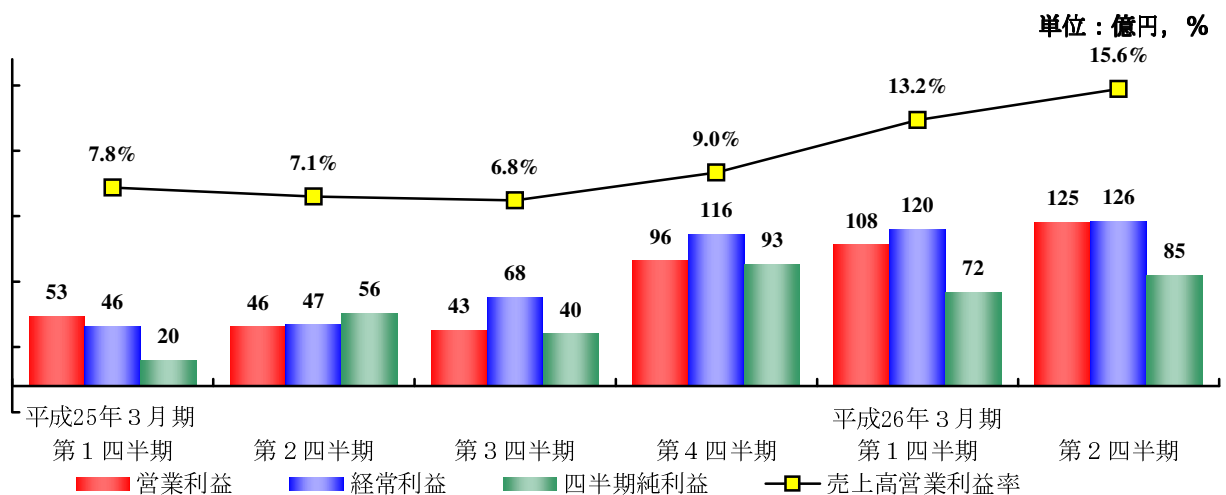
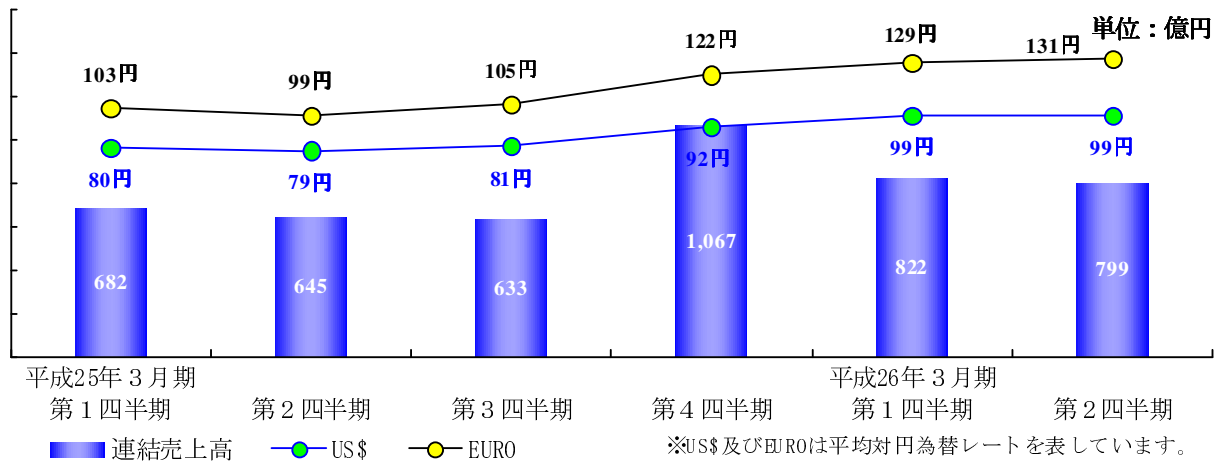
(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、アジアでは中国においては経済成長が続くものの、景気減速感が強まり、ASEAN諸国においては外需の減速が続き、これまで堅調だった内需の伸びにも鈍化が見られました。米国においては緩やかなペースで景気回復が続き、9月には量的金融緩和政策の維持を決めましたが、連邦債務上限引き上げ問題により世界の金融市場において先行き不透明感が広がりました。欧州においては景気低迷が長期化しているものの債務危機再燃への懸念は後退し、今後、景気回復が期待される状況となりました。わが国経済におきましては経済政策における公共投資により景気回復が持続し、また金融市場では円安と株高基調が続き、輸出企業を中心に企業の業績改善が鮮明となってきました。

当社グループが主要な事業基盤とする自動車業界は、世界の自動車販売は堅調に伸びており、特に米国や中国市場が好調を持続しました。わが国におきましては価格や維持費が比較的安い軽自動車の販売は高水準を維持しているものの本格的な回復には至っていない状況ですが、年度後半は消費税率引き上げ前の駆け込み需要が予想されます。

また半導体業界では、世界的にスマートフォンの販売、タブレット端末の市場拡大が続いている一方でパソコン市場は低迷し、厳しい価格競争が続いています。

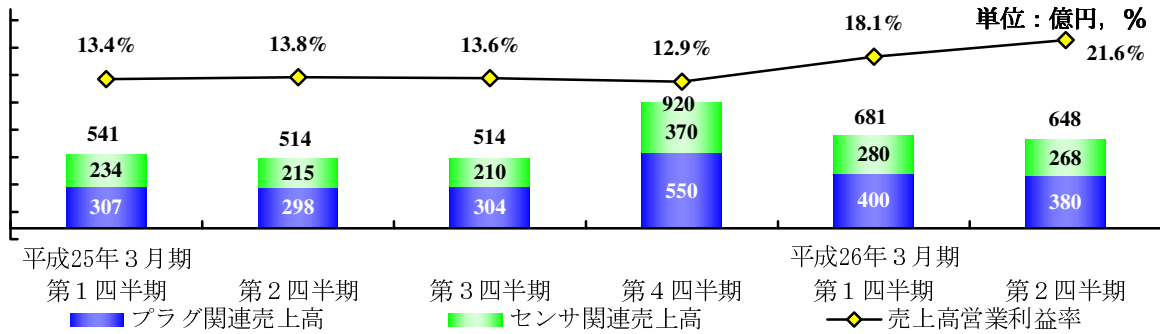
このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,621億55百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益233億24百万円（前年同期比136.3%増）、経常利益246億64百万円（前年同期比164.2%増）となり、四半期純利益は156億91百万円（前年同期比106.7%増）となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、第1四半期に続き、新車組付用製品も補修用製品も北米や新興国を中心に販売が堅調に推移し、為替相場では円安基調が続き、売上高の増加に寄与しました。また堅調な需要に対応すべく増産体制の整備を進めています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,328億73百万円（前年同期比26.0%増）、営業利益は262億90百万円（前年同期比83.4%増）となりました。

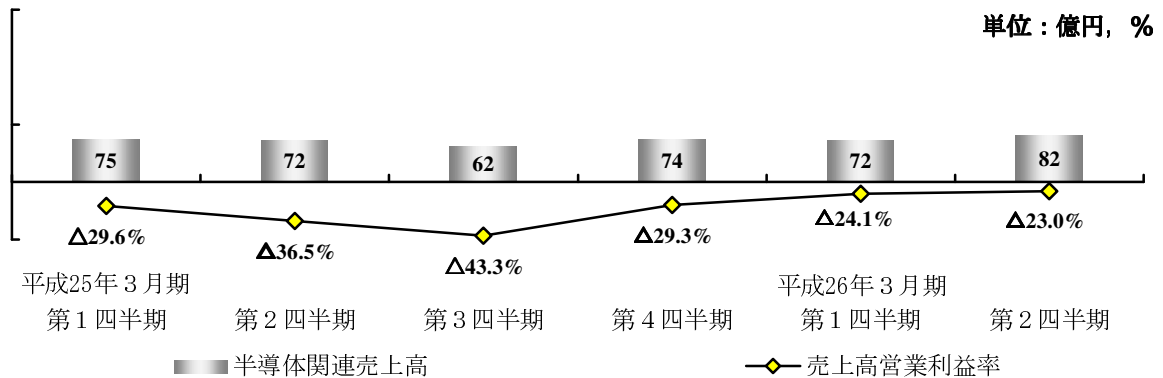


〈テクニカルセラミックス関連〉

半導体関連

当事業は、主力のパソコンCPU用ICパッケージにおいて客先での在庫調整が進み、受注が回復状況となりました。一方、収益については生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い、改善に努めています。また現在、ICパッケージにおいて、国内及び海外の生産委託先へ製造移管を進めている状況です。

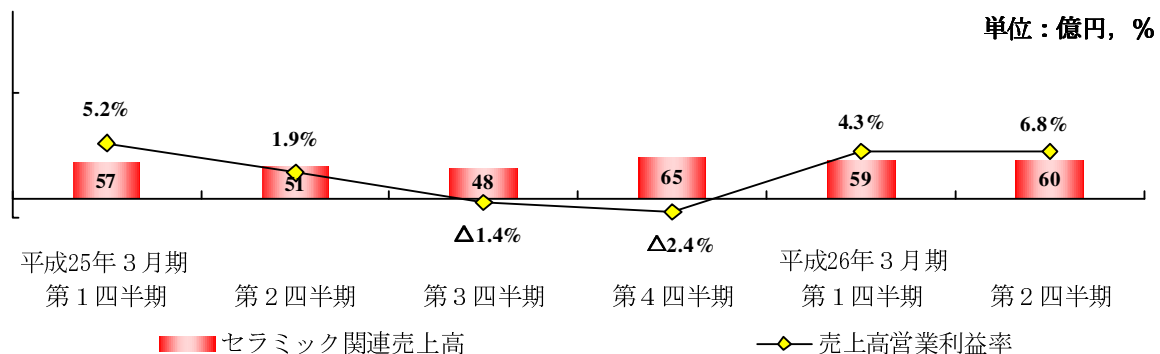
この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は153億96百万円（前年同期比5.0%増）、営業損失は36億19百万円（前年同期は48億38百万円の営業損失）となりました。



セラミック関連

当事業は、第1四半期に続き、工作機械向けの製品出荷は、主に北米を中心に堅調に推移しました。また産業用機器向けでは、半導体製造装置用製品の需要が好調となっています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は119億36百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は6億61百万円（前年同期比70.6%増）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期第2四半期	251,993	178,128	430,121	141,745	288,376
25年3月期	210,240	156,248	366,489	98,180	268,309

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末比 636 億 32 百万円増加の 4,301 億 21 百万円となりました。これは、主として有価証券や有形固定資産の増加によります。

負債は、前連結会計年度末比 435 億 65 百万円増加の 1,417 億 45 百万円となりました。これは、主として社債や長期借入金増加によります。

純資産は、主として利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末比 200 億 67 百万円増加の 2,883 億 76 百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期第2四半期	25,659	△29,577	27,171	73,549
25年3月期第2四半期	10,977	△1,262	△12,769	48,483

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比 146 億 82 百万円増加の 256 億 59 百万円の収入となりました。主として税金等調整前四半期純利益が増加したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 283 億 14 百万円増加の 295 億 77 百万円となりました。主として有形固定資産の取得が増加したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、271 億 71 百万円となりました（前年同期は 127 億 69 百万円の支出）。主として社債の発行や銀行借入によるものです。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 4 億 21 百万円を加えた純額で 236 億 75 百万円増加し、735 億 49 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(平成26年3月期の予想)

	自動車連		テクニカルセラミックス関連				その他		連結	
			半導体連		セラミック連					
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	266,760	(7.2)	29,780	(5.5)	23,520	(6.6)	3,940	(6.2)	324,000	(7.0)
営業利益	53,650	(61.8)	△7,940	(-)	1,290	(663.9)	0	(-)	47,000	(97.9)
経常利益									48,500	(75.2)
当期純利益									30,000	(43.5)
減価償却費	10,074		1,661		954		11		12,700	
設備投資額	45,383		6,381		2,535		1		54,300	

(注) 1 下期想定為替レート 1 US \$ = 95 円、1 EURO = 125 円

2 括弧内の数値は、対前年同期増減率を表します。

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、為替相場において当初の想定レートより円安に推移していること等により、平成25年5月8日に公表した業績予想を上回る見込みとなりましたので上記の通り修正します。なお、業績見通しにおける下期の為替レートは、1 US \$ = 95 円、1 EURO = 125 円を前提とします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,557	30,231
受取手形及び売掛金	53,103	59,400
有価証券	46,079	74,035
たな卸資産	67,845	66,820
繰延税金資産	8,805	10,950
その他	10,148	10,915
貸倒引当金	△299	△359
流動資産合計	210,240	251,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,334	41,785
機械装置及び運搬具(純額)	30,157	34,630
土地	15,131	15,082
建設仮勘定	8,966	17,518
その他(純額)	2,484	2,567
有形固定資産合計	97,073	111,583
無形固定資産		
ソフトウェア	3,590	3,301
その他	235	246
無形固定資産合計	3,826	3,547
投資その他の資産		
投資有価証券	52,770	60,072
繰延税金資産	925	760
その他	1,755	2,267
貸倒引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	55,347	62,996
固定資産合計	156,248	178,128
資産合計	366,489	430,121

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,814	24,359
短期借入金	1,432	1,553
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	302	269
未払法人税等	4,854	9,898
繰延税金負債	94	59
その他	25,799	25,401
流動負債合計	51,298	71,542
固定負債		
社債	25,000	40,000
長期借入金	—	5,000
リース債務	683	589
退職給付引当金	17,401	17,180
負ののれん	16	8
繰延税金負債	2,334	6,128
その他	1,446	1,297
固定負債合計	46,881	70,203
負債合計	98,180	141,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,824	54,824
利益剰余金	167,561	180,858
自己株式	△7,539	△7,570
株主資本合計	262,716	275,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,175	21,541
為替換算調整勘定	△12,596	△11,098
その他の包括利益累計額合計	3,579	10,442
少数株主持分	2,013	1,951
純資産合計	268,309	288,376
負債純資産合計	366,489	430,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	132,749	162,155
売上原価	100,918	112,563
売上総利益	31,831	49,592
販売費及び一般管理費	21,962	26,268
営業利益	9,868	23,324
営業外収益		
受取利息	574	522
受取配当金	329	439
負ののれん償却額	8	8
持分法による投資利益	247	152
為替差益	—	498
その他	474	442
営業外収益合計	1,634	2,063
営業外費用		
支払利息	291	232
為替差損	1,329	—
休止固定資産減価償却費	221	129
その他	323	360
営業外費用合計	2,166	722
経常利益	9,336	24,664
特別利益		
固定資産売却益	71	71
投資有価証券売却益	—	11
特別利益合計	71	82
特別損失		
固定資産処分損	187	258
投資有価証券評価損	44	—
特別損失合計	231	258
税金等調整前四半期純利益	9,177	24,488
法人税、住民税及び事業税	2,458	9,809
法人税等調整額	△990	△1,171
法人税等合計	1,467	8,638
少数株主損益調整前四半期純利益	7,709	15,849
少数株主利益	116	158
四半期純利益	7,592	15,691

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,709	15,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,539	5,356
為替換算調整勘定	△1,978	1,192
持分法適用会社に対する持分相当額	38	254
その他の包括利益合計	△5,479	6,803
四半期包括利益	2,229	22,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,090	22,554
少数株主に係る四半期包括利益	139	98

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,177	24,488
減価償却費	6,041	5,410
のれん償却額	△8	△8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△153	△211
受取利息及び受取配当金	△903	△961
支払利息	291	232
持分法による投資損益 (△は益)	△247	△152
固定資産処分損益 (△は益)	115	187
投資有価証券評価損益 (△は益)	44	—
売上債権の増減額 (△は増加)	999	△4,752
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△547	2,455
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,163	3,610
その他	△514	△561
小計	12,130	29,736
利息及び配当金の受取額	1,009	988
利息の支払額	△321	△225
法人税等の支払額	△1,841	△4,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,977	25,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	218	△738
有価証券の純増減額 (△は増加)	△2,094	△7,992
有形固定資産の取得による支出	△6,759	△19,933
無形固定資産の取得による支出	△274	△418
投資有価証券の取得による支出	△2,514	△3,078
投資有価証券の売却及び償還による収入	10,100	3,107
その他	61	△522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,262	△29,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△24	62
長期借入れによる収入	—	5,000
社債の発行による収入	—	24,877
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△6	△31
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△2,398	△2,398
その他	△340	△339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,769	27,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△285	421
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,340	23,675
現金及び現金同等物の期首残高	51,824	49,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,483	73,549

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	テクニカル 半導体	セラミック	セラミックス 関連計					
売上高									
外部顧客への売上高	105,422	14,664	10,752	25,416	130,839	1,910	132,749	—	132,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	105,422	14,664	10,752	25,416	130,839	1,910	132,749	—	132,749
セグメント利益 又は損失(△)	14,333	△4,838	387	△4,450	9,882	△14	9,868	—	9,868

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	テクニカル 半導体	セラミック	セラミックス 関連計					
売上高									
外部顧客への売上高	132,873	15,396	11,936	27,332	160,206	1,949	162,155	—	162,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	132,873	15,396	11,936	27,332	160,206	1,949	162,155	—	162,155
セグメント利益 又は損失(△)	26,290	△3,619	661	△2,957	23,333	△9	23,324	—	23,324

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成 25 年 4 月より、従来の情報通信関連事業とセラミック関連事業を統合し、テクニカルセラミックス関連事業としています。前第 2 四半期連結累計期間における情報通信関連、セラミック関連は、当第 2 四半期連結累計期間におけるテクニカルセラミックス関連の半導体、セラミックに相当します。

なお、前第 2 四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第 2 四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算概要（連結）

1. 当第 2 四半期累計の業績及び通期の見通し

（単位 百万円、％）

	前第 2 四半期	当第 2 四半期	（増減額）	（増減率）	前 期	通 期 予 想	（増減額）	（増減率）
プラグ	60,492	78,065	17,573	29.1%	145,882	155,090	9,207	6.3%
センサー	44,930	54,807	9,877	22.0%	102,912	111,670	8,757	8.5%
自動車関連	105,422	132,873	27,450	26.0%	248,795	266,760	17,964	7.2%
半導体	14,664	15,396	732	5.0%	28,238	29,780	1,541	5.5%
セラミック	10,752	11,936	1,183	11.0%	22,054	23,520	1,465	6.6%
テクニカル セラミックス関連	25,416	27,332	1,915	7.5%	50,292	53,300	3,007	6.0%
その他	1,910	1,949	39	2.1%	3,711	3,940	228	6.2%
売上高	132,749	162,155	29,405	22.2%	302,798	324,000	21,201	7.0%
自動車関連	14,333	26,290	11,957	83.4%	33,159	53,650	20,490	61.8%
半導体	△4,838	△3,619	1,219	—	△9,677	△7,940	1,737	—
セラミック	387	661	273	70.6%	168	1,290	1,121	663.9%
テクニカル セラミックス関連	△4,450	△2,957	1,493	—	△9,508	△6,650	2,858	—
その他	△14	△9	4	—	103	0	△103	—
営業利益	9,868	23,324	13,455	136.3%	23,754	47,000	23,245	97.9%
経常利益	9,336	24,664	15,327	164.2%	27,674	48,500	20,825	75.2%
四半期(当期)純利益	7,592	15,691	8,098	106.7%	20,909	30,000	9,090	43.5%
1 株当たり情報（円）								
四半期(当期)純利益	34 円 88 銭	72 円 09 銭			96 円 06 銭	137 円 83 銭		
中間(年間)配当金	11 円 00 銭	13 円 00 銭			22 円 00 銭	26 円 00 銭		
各種指標（％）								
売上高営業利益率	7.4%	14.4%			7.8%	14.5%		
ROE	—	—			8.4%	10.7%		
配当性向	—	—			22.9%	18.9%		
為替レート（円）								
US \$	79 円	99 円			83 円	97 円 (*95 円)		
EURO	101 円	130 円			107 円	128 円 (*125 円)		

※ 為替レートにおける通期予想括弧内は下期の想定為替レートを表しています。

イ. 当第 2 四半期累計の業績

- 自動車関連事業においては、新車組付用製品も補修用製品も北米や新興国を中心に販売が堅調に推移。
- テクニカルセラミックス関連事業においては、半導体関連は I C パッケージにおいて客先での在庫調整が進み、受注が回復状況。セラミック関連は、工作機械向けは堅調、産業用機器向けは半導体製造装置用製品の需要が好調。

ロ. 通期の見通し

- 年度後半は、為替相場における円安基調より、為替レート 1 US\$=95 円、1 EURO=125 円を前提として予想。

2. 設備投資額及び減価償却費

（単位 百万円）

	前 期	通 期 予 想	（ 増 減 額 ）
自動車関連	17,960	45,383	27,422
テクニカルセラミックス関連	6,041	8,916	2,874
その他	10	1	△9
設備投資額	24,012	54,300	30,287
自動車関連	10,157	10,074	△83
テクニカルセラミックス関連	2,633	2,615	△18
その他	7	11	3
減価償却費	12,798	12,700	△98

3. キャッシュ・フロー

（単位 百万円）

	前第 2 四半期	当第 2 四半期	（ 増 減 額 ）
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,977	25,659	14,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,262	△29,577	△28,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,769	27,171	39,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,483	73,549	25,066

- 営業活動においては、主として税金等調整前四半期純利益が増加したことなどにより前期比 146 億円増の収入。
- 投資活動においては、主として有形固定資産の取得が増加したことなどにより前期比 283 億円増の支出。
- 財務活動においては、社債の発行や銀行借入などにより 271 億円増の収入。